

もののれ〜る 43号



平成 25 年 12 月 15 日 発行

ご意見・ご感想をお寄せください。

発行 武蔵村山市都市整備部多摩都市モノレール推進担当

Tel 042-565-1111(内線 272)/Fax 042-566-4493/E-mail tamamono@city.musashimurayama.lg.jp

東京都主催

立川3・2・4号 新青梅街道線Ⅲ期区間の説明会（事業概要及び測量）

平成25年11月12日

新青梅街道事業説明会が開催されました

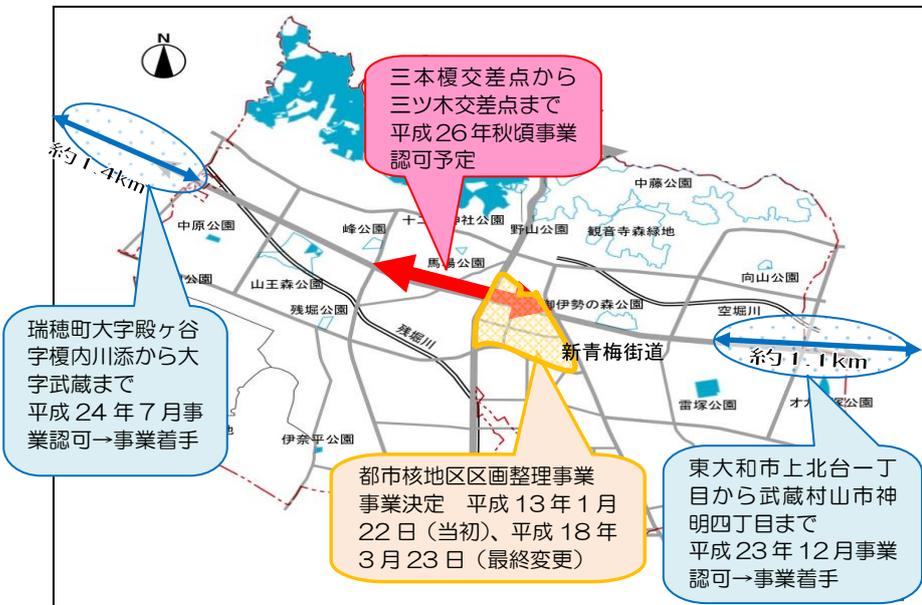
新青梅街道の三本榎交差点（本町一丁目）～三ツ木交差点（三ツ木一丁目）の約 1.5 km について、現在の幅員 18m から 30m に拡幅する事業の概要及び測量についての説明会が、11 月 12 日に市立第一中学校体育館で開催されました。

新青梅街道は、左の図に青色で示した区域では、既に東京都による用地取得が進められています。

今回、新たに事業に着手する区域は、赤色で示した部分になります。

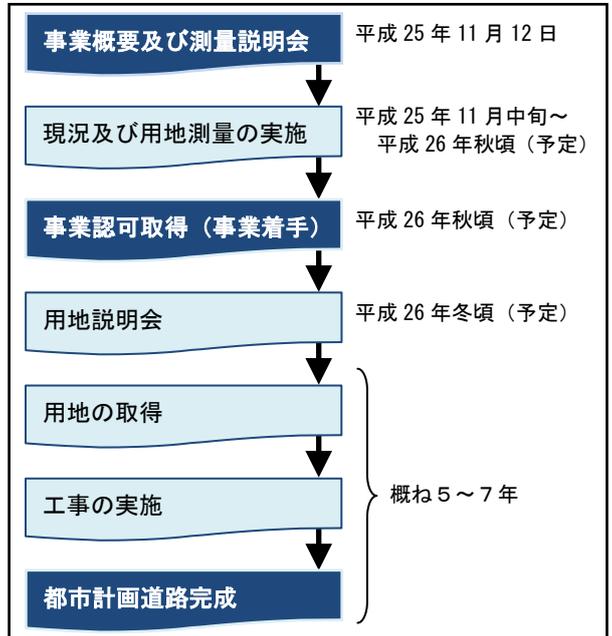
右下の図のように、拡幅事業が完了するまでのスケジュールが示されました。

今回行われた説明以降、東京都が現況測量及び用地測量を行い、国から事業認可を取得することになります。



その後、用地を取得し、工事を実施します。順調に事業が進むと、平成 31 年～33 年頃には、拡幅された新青梅街道となります。

東京都では、新青梅街道の拡幅整備を、道路の幅員が狭いため起こる渋滞、歩行者と自転車との接触などの課題を解決するために行っていますが、市では、モノレールの導入空間の確保にもつながるものとして、モノレールの延伸に向かって一歩ずつ進んでいると考えています。



いってきました!

モノレールが走る ぼくたちわたしたちの町



～武蔵村山市の未来模型～ 雷塚小学校展覧会

平成 25 年 11 月 29 日（金）、30 日（土）の市立雷塚小学校の展覧会では、3 年生から 6 年生と特別支援学級の児童たちが共同で、50 年後の武蔵村山市を作りました。ガイド役の 6 年生が、作品の説明をしてくれました。

オリンピックを記念してのスポーツ施設には、ウォータースライダーのあるプール、図書館には、プラネタリウムもついています。環境に配慮した住宅や、モノレールの駅も作りました。

町の中を走るモノレールには、笑顔の乗客がたくさん乗っています。駅の名前は、「新武蔵村山」です。

子どもたちの、未来への思いが伝わってくる力強い作品でした。

展示作品を見た市長は「東京五輪の開催までに、なんとかしても延伸を実現させたい。」と話していました。



早く本物のモノレールが来て、本物の笑顔が見られるように、これからも延伸に向けて全力で取り組んでいきますので、皆様のご支援ご協力をお願いします。



モノちゃん募金

11月16日(土)、17日(日)のFoodグランプリでモノちゃん(多摩都市モノレール)募金を行い、24,758円の募金をお預かりしました。

募金箱は、市政情報コーナー、情報館えのき、市民総合センター、市民会館などに置いてあります。

11月30日までに集まった募金は、106,442円になりました。



延伸に向けた現状や課題については、パンフレット「みんなの願い!多摩都市モノレール延伸!!」をご覧ください。パンフレットは、都市計画課窓口や市内公共施設においてあるほか、市ホームページからダウンロードできます。